

教育・研究業績書

診療科名 越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科		
＜教員の紹介＞		
教授 今 関 隆 雄 准教授 入 江 嘉 仁 講師 深 井 隆 太 講師 垣 伸 明(学外派遣中) 講師 権 重 好(学外派遣中)		
<b>I 教育活動</b>		
<b>教育実践上の主な業績</b>	<b>年月</b>	<b>概要</b>
<b>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</b>		
1. 学生の授業参加意識の取り組み  2. 学生による授業評価の活用		授業においては、テキストを参考にして、項目ごとに網羅するよう心がけている。また、学生と直に話が出来るよう、実際に手の脈を取り合って教えるようにしている。臨床現場で得られた知識と画像を示すことで学生の意欲を高め脈管への興味を持ってもらうよう意識している。  毎学期終了後に行われる授業評価アンケートの結果を、配付資料から活用し、次学期以降の授業内容・方法の改善に役立てている。
<b>② 作成した教科書、教材、参考書</b>		
低侵襲心臓血管外科手術 ICU と CCU などに依頼原稿執筆		心臓血管外科の臨床を通して、術前評価、外科適応、術後管理などの学習に役立てていきたい。
<b>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</b>		

## 教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科	教授	今関 隆雄	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1975年 4月～現在	日本外科学会会員		
1979年 4月～現在	日本胸部外科学会会員		
1987年 4月～現在	日本心臓血管外科学会会員		
1992年 4月～現在	日本外科学会指導医		
1996年 7月～現在	日本胸部外科学会指導医		
1997年 4月～現在	日本血管外科学会会員		
1997年 4月～現在	日本循環制御医学会会員		
1998年 4月～現在	日本循環制御医学会評議員		
1999年 2月～現在	心臓血管外科学会国際会員		
2000年 2月～現在	日本心臓血管外科学会評議員		
2000年～現在	埼玉循環器フォーラム常任世話人		
2000年～現在	越谷地区循環器懇話会 発起人世話人		
2004年 4月～現在	三学会合同 心臓血管外科専門医 (2009年更新)		
2004年 12月～現在	外科学会 外科専門医 (2009年更新)		
2004年 4月～現在	日本外科系連合学会会員		
2004年 4月～現在	日本胸部外科学会評議員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 入江嘉仁, <u>今関隆雄</u> : 鑑別すべき他科疾患、腰痛—大動脈瘤 (腹部/解離性). 腰椎変性疾患、基本知識とチェックポイント, 鈴木信正, 中原進之介, 野原裕編 pp136-137. メジカルビュー社 東京, 2004.			
【原 著】			
欧文			
1. Irie Y, Kaki N, Kiyama H, Gon S, Shioguchi S, Saito M, <u>Imazeki T</u> : Minimal incision with retroperitoneal approach for abdominal aortic surgery. Circulation Control 25:56-59, 2004.			
2.			
和文			
1. <u>今関隆雄</u> , 片山康, 入江嘉仁, 木山宏, 村井則之, 垣伸明, 佐藤康広, 齊藤政仁, 汐口壮一, 千葉知史: 胸骨部分切開による開心術. 胸部外科 57:1177-1183, 2004.			
2. <u>今関隆雄</u> : 低侵襲化メイズ手術. 呼吸と循環 52:257-262, 2004.			
3. <u>今関隆雄</u> : メイズ手術における低侵襲化. 循環器科 55:152-158, 2004.			

4. 垣伸明, 入江嘉仁, 今関隆雄, 佐藤康広, 秦一剋, 齋藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 田中恒有, 長磨美子: 腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の手術適応の検討. 日本血管外科学会雑誌 13 : 461-465, 2004.
5. 垣伸明, 木山宏, 入江嘉仁, 佐藤康広, 秦一剋, 齋藤政仁, 岡田修一, 今関隆雄, 片山康: MIVSによる腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の早期成績. 日本血管外科学会雑誌 13 : 657-661, 2004.
6. 汐口壮一, 垣伸明, 入江嘉仁, 齋藤政仁, 岡田修一, 田中恒有, 今関隆雄: MICSによるAVRでのlower ministernotomyの有用性. 日本心臓血管外科学会雑誌 33 : 325-328, 2004.
7. 今関隆雄, 垣伸明, 入江嘉仁, 秦一剋, 吉田浩紹, 権重好, 千葉知史, 長磨美子, 田中恒有: Freestyle弁を用いた大動脈基部置換術の検討. 循環制御 26 : 338-341, 2005.
8. 齋藤政仁, 垣伸明, 木山宏, 杉藪康憲, 塚越正樹, 今関隆雄, 入江嘉仁, 桜田真己, 三宅隆之, 米山暁: 左主幹部末梢病変急性冠症候群に対するHybrid治療経験. 心臓 37 : 1043-1048, 2005.
9. 垣伸明, 木山宏, 入江嘉仁, 秦一剋, 権重好, 齋藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 今関隆雄: 腰痛を初発症状とした破裂性腹部大動脈瘤の検討 発症から手術までの経過を中心に. 日本血管外科学会雑誌 14 : 587-590, 2005.
10. 垣伸明, 入江嘉仁, 今関隆雄, 木山宏, 村井則之, 吉田浩紹, 権重好, 汐口壮一, 齋藤政仁, 岡田修一: 胸骨部分切開アプローチによる僧帽弁位再手術. 日本心臓血管外科学会雑誌 34 : 163-166, 2005.
11. 垣伸明, 入江嘉仁, 今関隆雄, 権重好, 齋藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 田中恒有: 低侵襲手術による2弁置換術の検討. 日本心臓血管外科学会雑誌 34 : 5-8, 2005.
12. 小開胸による大動脈弁置換術: 今関隆雄, 入江嘉仁: 胸部外科 59 : 650-655, 2006.
13. 田中恒有, 入江嘉仁, 大喜多陽平, 齋藤政仁, 権重好, 深井隆太, 今関隆雄: 心拍動下冠動脈バイパス術後における塩酸ランジオロール低用量持続投与での有用性の検討-. 新薬と臨牀 57 : 136-141, 2008.

#### 【症例報告】

欧文

1. Irie Y, Shioguchi S, Yamada K, Hoya K, Imazeki T: Axillo-axillary artery bypass for the treatment of subclavian artery occlusion caused by blunt injury. Circulation Control 25 : 68-91, 2004.
2. Irie Y, Shioguchi S, Sato Y, Saito M, Hata I, Kaki N, Imazeki T: Multiple papillary fibroelastoma of the left ventricle. Asian Cardiovasc Thrac Ann 12 : 184-185, 2004.
3. Gon S, Kiyama H, Imazeki T, Irie Y, Murai N, Kaki N, Shioguchi S, Saito M: Dissected abdominal aortic aneurism in a 24-year-old female minimally invasive right retroperitoneal approach. Jpn J Cardiovasc Surg 34 : 127-129, 2005.

和文

1. 汐口壮一, 千葉知史, 入江嘉仁, 齋藤政仁, 佐藤康広, 垣伸明, 今関隆雄: ペースメーカーリード感染に対し人工心肺に抜去した1症例. 胸部外科 57 : 881-883, 2004.

#### 【総 説】

和文

1. 今関隆雄: 心臓手術の実際 外科医が語る術式、臨床工学技士が語る体外循環法 MICS-maze手術と体外循環法.

Clinical Engineering 18 : 787-790, 2007.

【その他】

欧文

1. Irie Y, Kaki N, Imazeki T, Hata I, Yoshida H, Gon S, Choh M, Tanaka K : Off-pump coronary artery bypass grafting increases the left ventricular ejection fraction in the early postoperative period. International Journal of Cardiology 97S : 67, 2004.

和文

1. 入江嘉仁, 今関隆雄 : 緊急治療を要する腹部の急性病変-各論 大動脈疾患. 消化器の臨床 6 : 697-701, 2004.
2. 木山宏, 入江嘉仁, 今関隆雄, 垣伸明: 皮膚小切開、腹膜外到達法による腹部大動脈瘤の手術. 外科治療 92: 463-472, 2005.

## 教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科	准教授	入江 嘉仁	大学院の研究指導担当資格 有
II 学会等および社会における主な活動			
1985年7月～現在	日本外科学会員		
1985年7月～現在	日本胸部外科学会正会員		
1985年7月～現在	日本人工臓器学会員		
2003年4月～現在	日本心臓血管外科学会国際会員		
2003年4月～現在	アジア心臓血管外科学会員		
2003年4月～現在	Cardiothoracic Surgery Network 会員		
2004年1月～現在	獨協医学会評議員		
2004年5月～現在	日本呼吸器外科学会員		
2006年7月～現在	日本成人心臓血管外科手術データベース機構項目検討委員		
2008年4月～現在	獨協医学会運営委員		
III 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>入江嘉仁</u> , 今関隆雄: 鑑別すべき他科疾患、腰痛—大動脈瘤(腹部/解離性)、腰椎変性疾患、基本知識とチェックポイント, 鈴木信正, 中原進之介, 野原裕編 pp136-137. メジカルビュー社 東京, 2004.			
【原 著】			
欧文			
1. <u>Irie Y</u> , Kiyama H, Kaki N, Gon S, Shioyuchi S, Saito M, Imazeki T: Minimal incision with retroperitoneal approach for abdominal aortic surgery. Circulation Control 25: 56-59, 2004.			
2. Yun JJ, Whiting D, Fischbein MP, Banerji A, <u>Irie Y</u> , Stein D, Fishbein MC, Proudfoot AE, Laks H, Berliner JA, Ardehali A: Combined blockade of the chemokine receptors CCR1 and CCR5 attenuates chronic rejection. Circulation 109: 932-937, 2004.			
3. Gon S, <u>Irie Y</u> , M Takahashi: Effects of Rabeprazole or Famotidine during cardiac surgery on perioperative gastric and esophageal pH readings. Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54: 278-284, 2006.			
和文			
1. 垣伸明, <u>入江嘉仁</u> , 今関隆雄, 佐藤康広, 秦一剋, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 田中恒有, 長磨美子: 腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の手術適応の検討. 日本血管外科学会雑誌 13: 461-465, 2004.			
2. 垣伸明, 木山宏, <u>入江嘉仁</u> , 佐藤康広, 秦一剋, 齊藤政仁, 岡田修一, 今関隆雄, 片山康, : MIVSによる腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の早期成績. 日本血管外科学会雑誌 13: 657-661, 2004.			
3. 今関隆雄, 片山康, <u>入江嘉仁</u> , 木山宏, 村井則之, 垣伸明, 佐藤康広, 齊藤政仁, 汐口壮一, 千葉知史: 胸骨部			

- 分切開による開心術. 胸部外科 57 : 1177-1183, 2004.
4. 汐口壮一, 垣伸明, 入江嘉仁, 齊藤政仁, 岡田修一, 田中恒有, 今関隆雄: MICSによるAVRでのlower ministernotomyの有用性. 日本心臓血管外科学会雑誌 33 : 325-328, 2004.
  5. 権重好, 今関隆雄, 入江嘉仁, 西木良一, 高橋盛男, 桑山肇: 心臓血管外科領域における周術期の酸分泌. 消化器内視鏡 17 : 375-381, 2005.
  6. 今関隆雄, 垣伸明, 入江嘉仁, 秦一剋, 吉田浩紹, 権重好, 千葉知史, 長磨美子, 田中恒有: Freestyle弁を用いた大動脈基部置換術の検討. 循環制御 26 : 338-341, 2005.
  7. 齊藤政仁, 秦一剋, 入江嘉仁, 垣伸明, 木山宏, 今関隆雄: 左総腸骨動脈瘤静脈穿破の一手術例. 日本血管外科学会雑誌 14 : 671-674, 2005.
  8. 齊藤政仁, 垣伸明, 木山宏, 杉藪康憲, 塚越正樹, 今関隆雄, 入江嘉仁, 桜田真己, 三宅隆之, 米山暁: 左主幹部末梢病変急性冠症候群に対するHybrid治療経験. 心臓 37 : 1043-1048, 2005.
  9. 垣伸明, 木山宏, 入江嘉仁, 秦一剋, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 今関隆雄: 腰痛を初発症状とした破裂性腹部大動脈瘤の検討 発症から手術までの経過を中心に. 日本血管外科学会雑誌 14 : 587-590, 2005.
  10. 垣伸明, 佐藤康広, 入江嘉仁, 秦一剋, 吉田浩紹, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 今関隆雄: 破裂性腹部大動脈瘤を合併したStanford A型急性大動脈解離の同時手術例の経験. 循環制御 26 : 50-53, 2005.
  11. 垣伸明, 入江嘉仁, 今関隆雄, 木山宏, 村井則之, 吉田浩紹, 権重好, 汐口壮一, 齊藤政仁, 岡田修一: 胸骨部分切開アプローチによる僧帽弁位再手術. 日本心臓血管外科学会雑誌 34 : 163-166, 2005.
  12. 垣伸明, 秦一剋, 入江嘉仁, 吉田浩紹, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 長磨美子, 田中恒有, 今関隆雄: 破裂性腹部大動脈瘤における中枢側血腫の有無と成績. 日本血管外科学会雑誌 14 : 539-543, 2005.
  13. 垣伸明, 入江嘉仁, 今関隆雄, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 田中恒有: 低侵襲手術による2弁置換術の検討. 日本心臓血管外科学会雑誌 34 : 5-8, 2005.
  14. 垣伸明, 秦一剋, 入江嘉仁, 吉田浩紹, 権重好, 今関隆雄: 胸部大動脈瘤の肺動脈穿通の1治療例. 日本血管外科学会雑誌 14 : 105-107, 2005.
  15. 汐口壮一, 吉田茂彦, 入江嘉仁, 今関隆雄: 鈍的外傷による内胸動脈、鎖骨下動脈損傷を伴う胸部外傷の2症例. 日本血管外科学会雑誌 14 : 705-708, 2005.
  16. 吉田浩紹, 入江嘉仁, 垣伸明, 佐藤康広, 秦一剋, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 長磨美子, 岡田修一, 田中恒有: Minimally Invasive Cardiac Surgery (MICS) における陰圧吸引補助脱血法 (Vacuum Assisted Venous Return: VAVR) の検討. 循環制御 26 : 58-61, 2005.
  17. 今関隆雄, 入江嘉仁: 小開胸による大動脈弁置換術. 胸部外科 59 : 650-655, 2006.
  18. 長磨美子, 垣伸明, 権重好, 秦一剋, 入江嘉仁, 今関隆雄: 妊娠中に発症した下肢深部静脈血栓症に対し、血栓除去および動静脈シャント造設術を施行した1例. 臨床外科 61 : 1409-1412, 2006.
  19. 齊藤政仁, 入江嘉仁, 木山宏, 垣伸明: 弓部大動脈瘤患者に対するオープンステント法を用いた弓部置換術の検討. 循環制御 : 29 : 148-154, 2008.
  20. 田中恒有, 入江嘉仁, 大喜多陽平, 齊藤政仁, 権重好, 深井隆太, 今関隆雄: 心拍動下冠動脈バイパス術後における塩酸ランジオロール低用量持続投与での有用性の検討一. 新薬と臨床 57 : 136-141, 2008.

【症例報告】

欧文

1. Irie Y, Shioguchi S, Yamada K, Hoya K, Imazeki T: Axillo-axillary artery bypass for the treatment of subclavian artery occlusion caused by blunt injury. Circulation Control 25 : 68-91, 2004.
2. Irie Y, Shioguchi S, Sato Y, Saito M, Hata I, Kaki N, Imazeki T : Multiple Papillary Fibroelastoma of the Left Ventricle. Asian Cardiovasc Thrac Ann 12 : 184-185, 2004.
3. Gon S, Kiyama H, Imazeki T, Irie Y, Murai N, Kaki N, Shioguchi S, Saito M : Dissected abdominal aortic aneurism in a 24-year-old female minimally invasive right retroperitoneal approach. Jpn J Cardiovasc Surg 34 : 127-129, 2005.

和文

1. 汐口壮一, 千葉知史, 入江嘉仁, 齊藤政仁, 佐藤康広, 垣伸明, 今関隆雄 : ペースメーカーリード感染に対し人工心肺に抜去した1症例. 胸部外科 57 : 881-883, 2004.
2. 齊藤政仁, 汐口壮一, 入江嘉仁, 権重好, 垣伸明, 木山宏, 今関隆雄 : Bentall変法後、Freestyle生体弁動脈壁Fistulaにより仮性動脈瘤合併手術を要した1例. 日本心臓血管外科学会雑誌 34 : 156-158, 2005.
3. 長磨美子, 入江嘉仁, 今関隆雄, 菅又嘉剛 : 冠動脈バイパス術後の抗血栓療法中に発症した非外傷性腹直筋血腫の1例. 臨床外科 60 : 1623-1626, 2005.
4. 権重好, 汐口壮一, 長磨美子, 千葉知史, 田中恒有, 秦一剋, 入江嘉仁, 今関隆雄 : 慢性解離性大動脈瘤の肺動脈穿破例. 胸部外科 59 : 847-850, 2006.
5. 田中恒有, 汐口壮一, 権重好, 秦一剋, 入江嘉仁, 今関隆雄 : 陳旧性肺結核による慢性収縮性心膜炎の1例. 胸部外科 60 : 583-586, 2007.
6. 汐口壮一, 入江嘉仁, 権重好, 今関隆雄 : 腹部大動脈瘤、冠動脈病変に総胆管癌が合併した一症例. 日本心臓血管外科学会雑誌 36 : 92-95, 2007.
7. 田中恒有, 汐口壮一, 権重好, 入江嘉仁, 今関隆雄 : 術前にヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) と診断された心拍動下冠動脈バイパス術 (OPCAB) の1例. 日本心臓血管外科学会雑誌 37 : 237-239, 2008.

【総 説】

【そ の 他】

欧文

1. Irie Y, Kaki N, Imazeki T, Hata I, Yoshida H, Gon S, Choh M, Tanaka K : Off-pump coronary artery bypass grafting increases the left ventricular ejection fraction in the early postoperative period. International Journal of Cardiology 97S : 67, 2004.

和文

1. 入江嘉仁, 今関隆雄 : 各論 大動脈疾患. 特集・緊急治療を要する腹部の急性病変. 消化器の臨床 6 : 697-701, 2003.
2. 木山宏, 入江嘉仁, 今関隆雄, 垣伸明 : 皮膚小切開、腹膜外到達法による腹部大動脈瘤の手術. 外科治療 92 : 463-472, 2005.

教育・研究業績書

<b>診療科名</b>	<b>職名</b>	<b>氏名</b>	
越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科	講師	深井 隆太	大学院の研究指導担当資格 無

## Ⅱ 学会等および社会における主な活動

1996年～現在	日本外科学会員
1998年～現在	日本胸部外科学会, 日本肺癌学会, 日本呼吸器外科学会, 気管支学会 (現日本呼吸器内視鏡学会) 会員
2000年12月～現在	日本外科学会認定医 (登録番号 15320 号)
2002年～現在	日本内視鏡外科学会員
2004年12月～現在	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 (第 204286 号)
2006年12月～現在	日本外科学会専門医 (第 1912173 号)
2007年7月～現在	日本がん治療暫定教育医 (第 072303 号)
2008年9月～現在	日本がん治療認定医 (第 07201490 号)
2008年～現在	日本癌治療学会員
2009年4月～現在	呼吸器外科専門医 (第 2000352 号)

## Ⅲ 研究活動

### 【学位論文】

Fukai R, Sakao Y, Sakuraba M, Oh S, Shiomi K, Sonobe S, Saitoh Y, Miyamoto H: The prognostic value of carcinoembryonic antigen in T1N1M0 and T2N1M0 non-small cell carcinoma of the lung. Eur J Cardiothorac Surg, 32: 440-444, 2007.

### 【著 書】

和文

1. 深井隆太, 小池道明: 胸腺Hodgkin病. 別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ NO.10 呼吸器症候群 III pp414-415. 日本臨床社 2009.

### 【原 著】

欧文

1. Miyamoto H, Wanz Z, Fukai R, Futagawa T, Anami Y, Yamazaki A, Morio A, Hata E: Complete resection via medial sternotomy for non-small cell lung cancer in the right upper lobe. ANZ J Surg 75:1049-1054, 2005.
2. Sakuraba M, Sakao Y, Yamazaki A, Fukai R, Shiomi K, Sonobe S, Saito Y, Imashimizu K, Matsunaga T, Miyamoto H: A case of aspergilloma detected after surgery for pneumothorax. Ann Thorac Cardiovasc Surg 12:267-269, 2006.
3. Sakao Y, Miyamoto H, Yamazaki A, Oh T, Fukai R, Shiomi K, Saito Y: Prognostic significance of metastasis to the highest mediastinal lymph node in non-small cell lung cancer. Ann Thorac Surg 81:292-297, 2006.
4. Asakage N, Katami A, Takekawa S, Suzuki T, Goto M, Fukai R: Pyogenic cervical spondylitis with quadriplegia as a complication of severe burns: Report of a case. Surg Today 36:1015-1018, 2006.
5. Oh S, Miyamoto H, Yamazaki A, Fukai R, Shiomi K, Sonobe S, Saito Y, Sakuraba M, Futagawa T, Sakao Y: Prospective analysis of depression and psychological distress before and after surgical resection of lung

cancer. Gen Thorac cardiovasc Surg 55:119-124, 2007.

和文

1. 田中恒有, 入江嘉仁, 大喜多陽平, 齋藤政仁, 権重好, 深井隆太, 今関隆雄:心拍動下冠動脈バイパス術後における塩酸ランジオール.-低用量持続投与での有用性の検討- 新薬と臨床 57:136-141, 2008

#### 【症例報告】

欧文

1. Fukai R, Fukumura Y, Suzuki K: A dedifferentiated liposarcoma of the anterior mediastinum. International Journal of Clinical Oncology 14:174-177, 2009.

和文

1. 松永健志, 深井隆太, 鈴木健司, 山野三紀: 巨大胸腺嚢胞を合併した縦隔Hodgkin病の1例. 肺癌 48:704-708, 2008.

#### 【総 説】

#### 【そ の 他】

## 教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科	講師	垣 伸明	大学院の研究指導担当資格 無
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1992年～現在	日本胸部外科学会員		
1992年～現在	日本心臓血管外科学会員		
1992年～現在	日本血管外科学会員		
1992年～現在	日本外科学会員		
1997年	日本外科学会認定医		
2003年	日本呼吸器外科学会員		
2004年	心臓血管外科専門		
2005年	日本胸部外科学会指導医		
2005年1月～現在	石心会狭山病院心臓血管外科副部長		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>垣伸明</u> ：典型的症状を示さない破裂性腹部大動脈瘤。大動脈瘤・大動脈解離診療のコツと落とし穴，田林晄一，栗林幸夫編 pp15. 中山書店 東京，2006.			
2. <u>垣伸明</u> ：腰痛を初発症状とする破裂性腹部大動脈瘤は見逃される。大動脈瘤・大動脈解離診療のコツと落とし穴，田林晄一，栗林幸夫編 pp16. 中山書店 東京，2006.			
【原 著】			
和文			
1. <u>垣伸明</u> ，大林民幸，金子達夫，佐藤泰史，尾形敏郎：高齢者（80歳以上）開心術の検討。ICUとCCU 28：533-539，2004.			
2. <u>垣伸明</u> ，今関隆雄，入江嘉仁，佐藤康広，秦一剋，齊藤政仁，汐口壮一，岡田修一，田中恒有，長磨美子：腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の手術適応の検討。日本血管外科学会雑誌 13：461-465，2004.			
3. <u>垣伸明</u> ，入江嘉仁，木山宏，佐藤康広，秦一剋，齊藤政仁，汐口壮一，岡田修一，今関隆雄，片山康：Minimally Invasive Vascular Surgery (MIVS) による腹部大動脈瘤に対する後腹膜到達法の早期成績。日本血管外科学会雑誌 13：657-661，2004.			
4. <u>垣伸明</u> ，今関隆雄，入江嘉仁，権重好，齊藤政仁，汐口壮一，岡田修一，長磨美子，田中恒有：低侵襲手術による2弁置換術の検討。日本心臓血管外科学会雑誌 34：5-8，2005.			
5. <u>垣伸明</u> ，今関隆雄，入江嘉仁，木山宏，村井則之，吉田浩紹，権重好，汐口壮一，齊藤政仁，岡田修一：胸骨部分切開アプローチによる僧帽弁位再手術。日本心臓血管外科学会雑誌 34：163-166，2005.			
6. <u>垣伸明</u> ，入江嘉仁，秦一剋，吉田浩紹，権重好，齊藤政仁，汐口壮一，長磨美子，田中恒有，今関隆雄：破裂性腹部大動脈瘤における中枢側血腫の有無と成績。日本血管外科学会雑誌 14：539-543，2005.			

7. 垣伸明, 入江嘉仁, 木山宏, 秦一剋, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 今関隆雄: 腰痛を初発症状とした破裂性腹部大動脈瘤の検討 発症から手術までの経過を中心に. 日本血管外科学会雑誌 14: 587-590, 2005.

#### 【症例報告】

欧文

1. Kaki N, Irie Y, Hata I, Gon S, Okada S, Imazeki T: Kommerell' s Diverticular Rupture complicated by Aberrant Left Subclavian Artery and Right Aortic arch successfully treated surgically: a case report. Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 53: 255-258, 2005.

和文

1. 垣伸明, 入江嘉仁, 佐藤康広, 秦一剋, 吉田浩紹, 権重好, 齊藤政仁, 汐口壮一, 岡田修一, 長磨美子, 今関隆雄: 破裂性腹部大動脈瘤を合併したStanford A型急性大動脈解離の同時手術例の経験. 循環制御 26: 50-53, 2005.
2. 垣伸明, 入江嘉仁, 秦一剋, 吉田浩紹, 権重好, 今関隆雄: 胸部大動脈瘤の肺動脈穿通の1治験例. 日本血管外科学会雑誌 14, 105-107, 2005.

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院心臓血管外科・呼吸器外科	講師	権 重好	大学院の研究指導担当資格 無
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
1998年～現在	心臓血管外科学会員、胸部外科学会員、外科学会員		
2007年1月	心臓血管外科専門医		
2008年12月	日本外科学会専門医		
2009年～現在	日本心臓血管外科国際会員		
2009年～現在	アジア心臓血管外科学会員		
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
<b>【学位論文】</b>			
Gon S, Irie Y, Takahashi M: Effects of rabeprazole or famotidine during cardiac surgery on perioperative gastric and esophageal pH readings. Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 2006, 54:278-284, 2006.			
<b>【著 書】</b>			
<b>【原 著】</b>			
和文			
1. 権 重好、入江嘉仁、今関隆雄、西木良一、高橋盛男、桑山肇：心臓血管外科領域における周術期の酸分泌. 消化器内視鏡 2005, 17 : 375-381			
<b>【症例報告】</b>			
欧文			
1. <u>Gon S</u> , Imazeki T, Kiyama H, Irie Y, Murai N, Kaki N, Shioguchi S, Saito M: Dissected abdominal aortic aneurism in a 24-year-old female-minimally invasive right retroperitoneal approach-. Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 34: 127-129, 2005.			
2. <u>Gon S</u> , Yoshida S, Sanae T, Takahashi T, Inada E: Revascularization using satellite vein after radial artery harvested for coronary artery bypass grafting. Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 54: 253-255, 2006.			
3.			
和文			
1. 権 重好、汐口壮一、長磨美子、千葉知史、田中恒有、秦 一剋、入江嘉仁、今関隆雄：慢性の解離性大動脈瘤が肺動脈へ穿破した一症例. 胸部外科 59 : 847-850, 2006.			
<b>【総 説】</b>			
<b>【そ の 他】</b>			